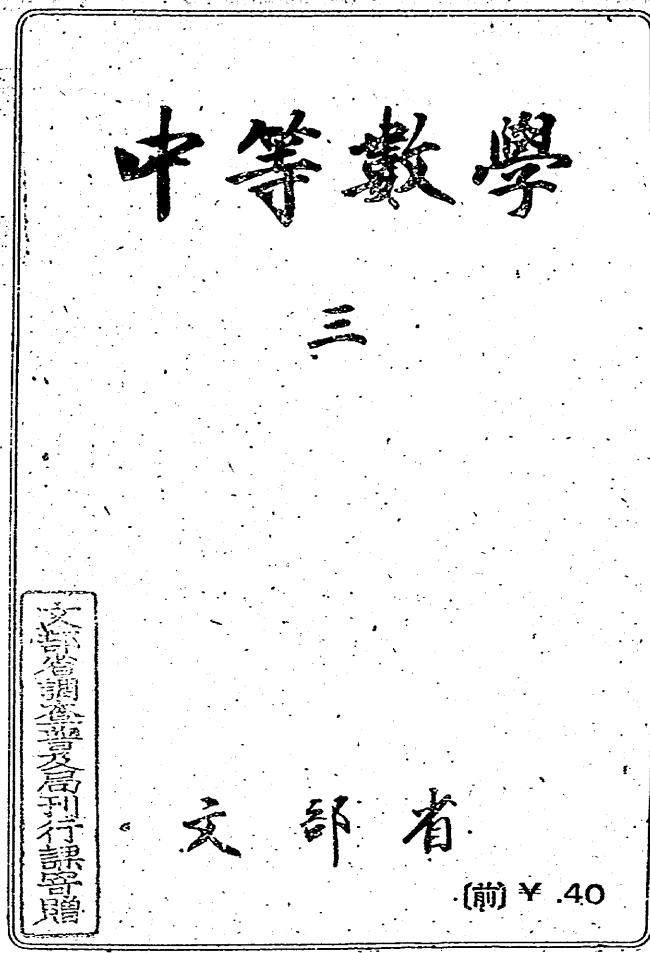


K240.4

1a



(62)

目 錄

二 次 函 數

一 比 例 [一]	1
二 比 例 [二]	4
三 二 次 函 數 の 最 大・最 小	6
四 二 次 方 程 式	10

昭和 21 年 3 月 13 日 印 刷 同 日 製 制 印 刷
昭和 21 年 3 月 17 日 発 行 同 日 製 制 発 行
〔昭和 21 年 3 月 17 日 文部省検査済〕

著作権所有

著 作 者 文 部 省

京 都 神 田 区 岩 木 町 三 番 地

紙 制 發 行 者 中 等 學 校 教 科 書 株 式 會 社

代 表 者 離 井 寅 雄

東 京 都 牛 肴 町 二 丁 目 十 二 番 地

印 刷 者 大 日 本 印 刷 株 式 會 社

代 表 者 佐 久 间 長 吉 郎

APPROVED BY MINISTRY
OF EDUCATION
(DATE Mar. 13, 1946)

二 次 函 數

一 比 例 [一]

一 風が吹ケバ、ソノ風ヲ受ケル物體ニ力ガ加リ、ソノ力ハ
風速ガ大ナルホド大キイ。

右ノ表ハ、コノ關係ヲ調ベルタメニ、直徑五厘ノ直圓柱ニ真

横カラ風ヲ當テテ實驗シテ得

タ結果デアル。但シ、表ニア

ル力ノ大キサハ、圓柱ノ長サ

一米ノ部分ニ加ツカ力ヲ合ハ

セタモノノ大キサヲ示ス。

(一) 風速ガ増スニツレテ、

加ル力ハドシナニ増スカ。

雙方ノ増シ方ヲ比ベヨ。

變化スルニツノ量 x, y ガテツテ、 x ガ元ノ m 倍ニナルト、 y ガ元ノ m^2 倍ニ

ナル場合ニ、 y ハ x ノ二乗ニ比例スル トイフ。

(二) 風速ト加ル力トノ關係ヲ言葉デ述ベヨ。

(三) 上ノ關係ヲ示ス實驗式ヲ推定セヨ。

二 變化スルニツノ量 x, y ガアツテ、 y ガ x ノ二乗ニ比例ス

ル場合ニ、 a ヲ適當ニ定メルト; x, y ノ間ニ次ノ等式デ示サレ

ル關係ガアル。コノ理由ヲ明ラカニセヨ。

$$y = ax^2$$

三 x, y ノ間ニ $y = ax^2$ ノ關係ガアルト、次ノ圖表ハドノヤ

ウナ線ニナルカ。但シ、 a ヲ 0.1 トセヨ。

(一) x ト y トノ關係ヲ示スモノ

(二) x^2 ト y トノ關係ヲ示スモノ

四二ツノ相似三角形 $A_1B_1C_1$, $A_2B_2C_2$ ガアツテ

$$\angle A_1 = \angle A_2 = 60^\circ$$

$$A_1B_1 = 9, A_1C_1 = 6; \quad A_2B_2 = 12, A_2C_2 = 8$$

デアルトスル。コノ二ツノ三角形ト相似デ、面積ガソレラノ面積ノ和ニ等シイ三角形 ABC ヲ求メヨ。先ツ、相似三角形 ABC, $A_1B_1C_1$, $A_2B_2C_2$ ノ面積ト對應スル邊ノ長サトノ關係ヲ式ニ書き表シテミヨ。

(一) (一) 五角形 ABCDE ヲ相似ニ擴大又ハ縮小シテ出來ルモノニ就イテ、ソノ面積ト AB = 對應スル邊ノ長サトノ關係ヲ式ニ書き表セ。

(二) 相似ナニツノ五角形ガアル。コレト相似デ、面積ガソレラノ面積ノ和ニ等シイモノヲ求メル方法ヲ述ベヨ。

(三) 相似ナ n 筒ノ平面圖形ガアル。コレト相似デ、面積ガソレラ n 筒ノ面積ノ和ニ等シイモノヲ求メルニハ、ドウスレバヨイカ。ソノ方法ヲ述ベヨ。

(四) 相似ナニツノ平面圖形ガアル。コレト相似デ、面積ガソレラノ面積ノ差ニ等シイモノヲ求メルニハ、ドウスレバヨイカ。ソノ方法ヲ述ベヨ。

(二) 次頁ノ圖ニ示シタヤウナ、圓筒ノ形ヲシタ金屬製ノ物體ガアル。ソノ高サハ 15.3 檉デ、筒ノ外徑ハ 30.5 檉、内徑ハ

21.0 檉デアル。

コレヲ直シテ同ジ高サノ圓柱狀ノ物體ヲ作ルト、底面ノ半徑ハ何程ニナルカ。

(三) 球ノ表面積・體積ハ、半徑トドノヤウナ關係ニアルカ。コノ關係ヲ式ニ書き表セ。又、ソレヲ言葉デ述ベヨ。

(四) 右ノ圖ニ示シタヤウナ似タ形ノ匙ガ四本アル。ソレラノ口ノ長イ方ノ徑ハ 7 檉, 4.7 檉, 2.7 檉, 2.4 檉デ、最大キイ方ノ容積ハ約 20 立方檉デアル。他ノ匙ノ容積ハソレゾレ何程カ。

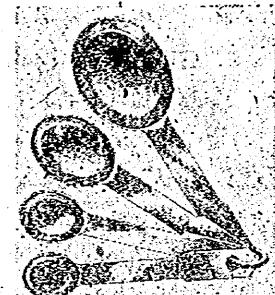
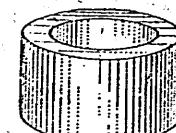
(五) 麦程ノ一端ニ石鹼液ヲツケ、他端カラ息ヲ吹キ込ムト、綺麗ナ石鹼球ガ出來ル。一樣ニ息ヲ吹キ込ムモノトシテ、次ノコトヲ調ベヨ。

(一) 息ヲ吹キ込ミ始メテカラノ時間 (t) 上石鹼球ノ半徑 (r) トノ比例關係ヲ式ニ書き表セ。又、コノ關係ヲ言葉デ述ベヨ。

(二) 息ヲ吹キ込ミ始メテカラノ時間 (t) 上石鹼球ノ表面積 (a) トノ比例關係ヲ式ニ書き表セ。又、コノ關係ヲ言葉デ述ベヨ。

(三) 石鹼球ガ擴ガツテ行ク様子ヲ圖表ニ示セ。

(六) 直徑 1 籀、長サ 100 籀ノ銅線ノ目方・約 0.7 坪デアル



トイフ。同ジ分量ノ銅デイロイロナ直徑ノ銅線ヲ作ル時、直徑ト長サトノ間ニドノヤウナ關係ガアルカ。コノ關係ヲ式ニ書き表セ。又、ソノ關係ヲ言葉デ述べヨ。

二 比例 [二]

一 (一) 平行四邊形 ABCD の邊 AB ダケヲ m 倍ニ延シテ作ツタ平行四邊形ノ面積ハ、元ノ面積ノ何倍ニナルカ。邊 AD ダケヲ n 倍ニ延ストドウナルカ。

又、邊 AB フ m 倍ニ、邊 AD フ n 倍ニ延ストドウナルカ。

(二) 一ツノ角ノ大キサン定マツタ平行四邊形デ、ソノ面積ト相隣ル二邊ノ長サトノ間ニハドノヤウナ關係ガアルカ。コノ關係ヲ言葉デ述べヨ。

變化スル三ツノ量 x, y, z ガアツテ、 x, y ガソレゾレ元ノ m 倍、 n 倍ニナルド、 z ガ元ノ mn 倍ニナル場合ニ z ハ x, y の積ニ比例スルトイフ。

二 變化スル三ツノ量 x, y, z ガアツテ、 z ガ x, y の積ニ比例スル場合ニ、 a ヲ適當ニ定メルト、 x, y, z の間ニ次ノ等式デ示サレル關係ガアル。コノ理由ヲ明ラカニセヨ。

$$z = axy$$

三 z ガ x, y の積ニ比例スル場合ニ、 z ハ x ダケガ變ルト x = 比例シ、 y ダケガ變ルト y = 比例スル。コノ理由ヲ明ラカニセヨ。

四 (一) 気體ノ體積・壓力・絕對溫度ノ間ニドノヤウナ關係ガアルカ。ソノ關係ヲ示ス式ヲ書ケ。

(二) 気體ノ體積ハ、壓力ダケガ變ル場合ニ、壓力トドノヤ

ウナ關係ニアルカ。

又、絕對溫度ダケガ變ル場合ニハドウカ。

(三) 氣體ノ體積・壓力・絕對溫度ノ間ニアル比例關係ヲ、積ニ比例スルトイフ形ニ述ベヨ。

五 明カルサヲ表スニハ、ルクストイフ單位ヲ用ヒル。ルクストハ、一燭ノ光源カラ一米離レタ所ノ明カルサヲイフ。

明カルサハ燭光數ニ比例シ、又、實驗ノ結果ニヨレバ、光源カラノ距離ノ二乘ニ反比例スル。コノ關係ヲ式ニ書き表セ。又、ソノ關係ヲ積ニ比例スルトイフ形ニ述ベヨ。

今書イタ式ヲ用ヒテ、三十二燭ノ電球カラ一米五十厘離レタ所ノ明カルサヲ計算セヨ。

(一) 次ノ各組ノ量ノ間ニアル關係ヲ式ニ書き表セ。又、ソノウチゾーツガ定マツテキル場合ニ、ソノ他ノ量ノ間ニハドノヤウナ關係ガアルカ。ソノ關係ヲ言葉デ述べヨ。

(一) 速サ・時間・距離

(二) 三角形ノ底邊・高サ・面積

(三) 圓錐ノ底面ノ半徑・高サ・體積

(四) 丸太ノ直徑・長サ・比重・目方

(二) 讀書ニ適當ナ明カルサハ四十ルクス・デアルトイフ、四十ルクスノ明カルサヲ得ルニハ、電球ノ燭光數ト電球カラ机マデノ距離トノ間ニ、ドノヤウナ關係ガナケレバナラナイカ。ソレヲ圖表ニ示セ。

(三) 變化スル三ツノ量 x, y, z ノ間ニ、等式 $z = axy$ ガ成立チ、且ツ y ガ x ハ比例スルト、 z ハ x ノ二乗ニ比例スル。コノ理由ヲ明ラカニセヨ。但シ、 a ハ定マツタ數デアル。

三 二次函數ノ最大・最小

一 幅 28 種ノブリキ板ガアル。

コレヲ右ノ圖デ ACDB ガ矩形ニナルヤウニ折リ曲ゲテ樋ヲ作リ、口ノ面積ヲ最大キクシヨウト思フ。ド C フヤウニ折リ曲ゲレバヨイカラ考ヘヨウ。

(一) 樋ノ深サ (x 種) トソノ口ノ面積 (y 平方種) トノ間ニハドノヤウナ關係ガアルカ。ソレヲ式ニ書き表セ。

y ガ x の函数デ、 x ト y トノ關係ガ $y = ax^2 + bx + c$ (a, b, c ハ定マツタ數) ノ形式デ表サレル時、 y ハ x = 就イテノ二次函數デアル。トイヒ、 x ヲ變數トトイフ。

(二) 口ノ面積ヲ最大キクスルニハ、ブリキ板ヲドノヤウニ折リ曲ゲレバヨイカ。次ノヤウナ表ヲ作ツテ調ベヨ。

樋ノ深サ x (種)	1	2	3	4	5
口ノ面積 y (平方種)						

二 二次函數 $y = x^2 + 2x$ デ、 x ノドノヤウナ値ニ對シテ、 y ノ値ガ最大キクナルカ。或ハ最小サクナルカ。 x, y ノ關係ヲボス表ヲ作ツテ調ベヨ。

三 二直線 aod' , bob' が直角

ニ交ハシテキル。動點 A ハ直線 aod' 上ヲ矢デ示シタ向キニ、毎秒 1 横ノ速サデ等速運動フシテキル。又、動點 B ハ直線 bob' 上ヲ矢デ示シタ向キニ、毎秒 0.5 横ノ速サデ等速運動フシテキル。點 o フ A ガ通ツテカラ 5 分後ニ B ガ通ツタ、A, B ガ最モ近ヅクノハイツデアルカ。次ニ示シタ順序デ調ベヨ。

(一) B ガ點 o フ通ツテカラ x 秒後ニ於ケル A, B ノ距離ヲ z 横トスルト、 x, z ノ間ニ次ノ等式デ示サレル關係ガアル。コレヲ説明セヨ。

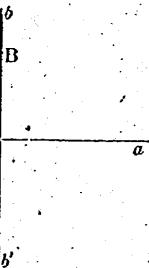
$$z = \sqrt{(x+300)^2 + \frac{1}{4}x^2}$$

(二) 上ノ函數 z ノ値ヲ最モ小サクスル x ノ値ハ、二次函數 $y = (x+300)^2 + \frac{1}{4}x^2$ ノ値ヲ最モ小サクスル値デアル。コレヲ求メヨ。

四 二次函數ノ値ヲ最大又ハ最小ニスル變數ノ値ヲ、二ノ方法デ求メヨウトスルト、手數ノカカルコトガ多イ。三デ調ベタ二次函數 $y = (x+300)^2 + \frac{1}{4}x^2$ ハ、ソノ一例デアル。ココデハ式ノ上カラ求メテミヨウ。

(一) 等式 $y = (x+300)^2 + \frac{1}{4}x^2$ ヲ次ノヤウニ變形シ、ソノ式ヲ用ヒテ函數ノ値ヲ最小ニスル變數 x ノ値ヲ求メヨ。

$$y = \frac{5}{4} \{(x+p)^2 + q\}$$



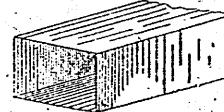
(二) 函数 $y = -3x^2 + 4x - 1$ = 就イテハドウカ。

(三) 一般ノ二次函数 $ax^2 + bx + c$ = 就イテハドウカ。

二次函数ノ値ヲ最大ニスル變數ノ値ガアルノハ、係數 a ガドンナ數デアル場合カ。又、最小ニスル變數ノ値ガアルノハドンナ場合カ。

(一) 幅 30 捷ノブリキ板ガアル。

コレヲ右ノ圖ニ示シタヤウニ折り曲ゲテ、口ガ矩形デアル桶ヲ作り、口ノ面積ヲ最大キショウト思フ。ドノヤウニ折り曲ゲレバヨイカ。



(二) 次ノ式ニ適當ナ數ヲ加ヘテ、コレヲ二乘ノ形ノ式ニ直セ。

$$(一) x^2 + 4x \quad (二) x^2 + 3x \quad (三) x^2 + \frac{2}{5}x$$

$$(四) x^2 - 4x \quad (五) x^2 - 5x \quad (六) x^2 - \frac{7}{3}x$$

$$(七) x^2 + 1.2x \quad (八) x^2 - 1.7x \quad (九) x^2 - 1\frac{2}{3}x$$

(三) 次ノ函数ノ値ヲ最大又ハ最小ニスル變數ノ値ヲ求メヨ。

$$(一) y = x^2 - 4x + 5 \quad (二) y = -3x^2 + 8x$$

$$(三) y = \frac{1}{2}x^2 - \frac{5}{6}x + \frac{3}{5} \quad (四) y = -0.5x^2 + 1.3x - 7.5$$

$$(五) 8 + 4x - 5x^2 \quad (六) (2x+3)(x+4)$$

(四) 二次函数 $ax^2 + bx + c$ ノ、 a ガ正ノ數ナラバ何程デモ

大キナ值ヲ取ルコトガデキル。コレヲ説明セヨ。

又、 a が負ノ數ナラバドウカ。

二次函数 $y = ax^2 + bx + c$ ノ、對應スル x, y の値ノ組ヲ座標トスル點ヲ取ルト曲線ガ出來ル。コレヲ 二次式 $y = ax^2 + bx + c$ が表ス曲線トイフ。

(五) 二式ガ表ス曲線ハ對稱形デアルコトヲ説明セヨ。

又、二式ガ表ス曲線ノ對稱軸ノ位置ハ、ソノ式デ表サレル函數ノ値ヲ最大又ハ最小ニスル變數ノ値下、ドノヤウナ關係ニアルカ。

(六) 次ノ二式ガ表ス曲線ハ對稱形デアル。各ノ對稱軸ヲ表ス式ヲ書ケ。

$$(一) y = x^2 - 8x + 2 \quad (二) y = -x^2 - 4x - 4$$

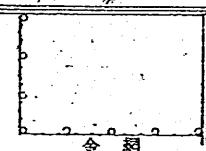
$$(三) y = 2x^2 + 5x + 3 \quad (四) y = -3x^2 + 4x + 15$$

$$(五) y = -0.75x^2 + 2.05x + 0.3$$

(七) 幅ガ一樣デ、長サ二尺四寸ノ厚紙ガアル。コレヲ折り曲ゲテ底ヲツケ、左ノ圖ニ示シタヤウナ塵取リヲ作り、塵ガナルベク多クハイルヤウニショウト思フ。

塵取リノ縦・横ノ長サヲ各、幾ヲニスレバヨイカ。

(八) 長サ四間ノ金網ガアル。コレヲ右ノ圖ニ示シタヤウニ直角ニ折り曲ゲテ、庭ノ隅ニ鶴小屋ヲ作ラウト思フ。



小屋ノ面積ヲナルベク大キクスルニハ、ドノヤウタ形ニ作レバヨイカ。

(九) 和ガ一定ナニツノ正ノ數ノウチ、積ガ最モ大キクオルモノヲ求メヨ。

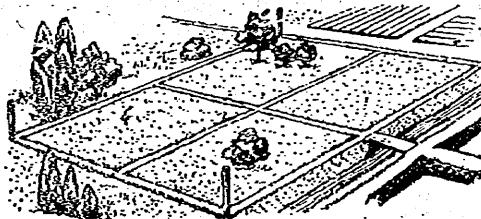
(十) 積ガ一定ナニツノ正ノ數ノウチ、和ガ最モ小サクナルモノヲ求メヨ。次ノ等式ヲ参考ニシテ考ヘヨ。

$$(x+y)^2 - (x-y)^2 = 4xy$$

四 二次方程式

一 二邊ガ十五間、十間ノ矩形ノ空地ガアル。下ノ圖ニ示シタヤウニ、同ジ幅ノ路ヲ作ツテコノ空地ヲ四ツニ分ケ、各々ノ面積ヲ三十坪ヅシニショウト思フ。

路幅ハドレグラキニスレバヨイカヲ考ヘヨウ。



(一) 各々ノ面積ハ路幅ノ函数デアル。コノ函数關係ヲ式ニ書き表セ。但シ、路幅及ビ各々ノ面積ヲソレヅレ x 間、 y 坪トセヨ。

(二) 各々ノ面積ヲ三十坪ニスル路幅ハ何程カ。上テ作ツタ函數ノ圖表ヲ使ツテ、コレヲ求メヨ。

各々ノ面積ヲ三十坪ニスル路幅ヲ求メル方程式ハ、次ノヤウニ直スコトガデキル。

$$3x^2 - 25x + 10 = 0$$

一般ニ、 $ax^2 + bx + c = 0$ ノヤウナ形ノ方程式ヲ 二次方程式 トイフ。

(三) 二次方程式 $3x^2 - 25x + 10 = 0$ ノ計算デ解クニハドウスレバヨイカ。次ニ示シタ順序デ、ソノ方法ヲ工夫セヨ。

(イ) 次ノヤウナ形ノ二次方程式ハ容易ニ解クヨトガデキル。各方程式ノ根ヲ求メヨ。

$$(1) x^2 = 81$$

$$(2) 4x^2 = 18$$

$$(3) 3x^2 = 16$$

$$(4) (x-1)^2 = 16$$

$$(5) (2x-1)^2 = 25$$

$$(6) (2x+1)^2 = 25$$

$$(7) 4(2x-3)^2 = 49$$

$$(8) 4(2x+3)^2 = 121$$

(ロ) 二次方程式 $3x^2 - 25x + 10 = 0$ ノ上ニ舉ゲタ形ノ方程式ニ變形シ、次ニ、ソノ根ヲ求メヨ。前節七頁デ行ナツタ式ノ變形ヲ、 $3x^2 - 25x + 10 = 0$ = 適用シテ考ヘヨ。

(四) 路幅ハ約何尺何寸ニスレバヨイカ。

二 次ノ二次方程式ヲ解ケ。

$$(一) x^2 - 4x + 1 = 0 \quad (二) x^2 + 3x - 5 = 0$$

$$(三) 4x^2 + 8x - 3 = 0 \quad (四) 4x^2 - 28x + 47 = 0$$

三 二次方程式 $ax^2 + bx + c = 0$ ノ根ハ一般ニツアツテ

$$\frac{-b + \sqrt{b^2 - 4ac}}{2a} \quad \text{及ビ} \quad \frac{-b - \sqrt{b^2 - 4ac}}{2a}$$

デアル。コレヲ確カメヨ。

上ノ式ヲ 二次方程式 $ax^2 + bx + c = 0$ ノ根ノ公式 トイフ。

$$\frac{-b + \sqrt{b^2 - 4ac}}{2a} \quad \frac{-b - \sqrt{b^2 - 4ac}}{2a} \quad \text{トマトメテ} \quad \frac{-b \pm \sqrt{b^2 - 4ac}}{2a} \quad \text{ト書キ表ス。}$$

四、根ノ公式ヲ用ヒテ、次ノ方程式ヲ解ケ。

$$(一) \quad 2x^2 - 10x + 11 = 0 \quad (二) \quad 4x^2 - 8x - 1 = 0$$

$$(三) \quad 4x^2 - 36x + 53 = 0 \quad (四) \quad 9x^2 - 24x + 13 = 0$$

$$(五) \quad x^2 - 2x - 1 = \frac{4}{9}(3x + 1) \quad (六) \quad x^2 + x + 3 = 3x^2 - 5x + 5$$

$$(七) \quad x^2 - 5\sqrt{3}x + 18 = 0 \quad (八) \quad 49x^2 - 14\sqrt{3}x - 17 = 0$$

$$(九) \quad 0.34x^2 - 8.25x - 40.25 = 0$$

五、二次方程式デ、係數ヲ勝手ナ數ニスルト、根ノナクナルコトガアル。根ガアルノハ、係數ノ間ニドメヤウナ關係ガアル場合カ。ソレヲ式ニ書キ表セ。

又、次ノ二次方程式ニ根ガアルカドウカラ調ベヨ。

$$(一) \quad x^2 + x + 1 = 0 \quad (二) \quad x^2 + x - 1 = 0$$

$$(三) \quad x^2 - 8x + 16 = 0 \quad (四) \quad 6x^2 - 8x + 15 = 0$$

六、二次方程式 $ax^2 + bx + c = 0$ = 根ガアルト、ソノ二ツノ根ノ和ノ半分ハ、函数 $ax^2 + bx + c$ の値ヲ最大又ハ最小ニスル變數ノ値デアル。コレヲ確カヌヨ。

又、根ノナイ場合ニハドウ考ヘレバ当イカ。

七、二次方程式 $ax^2 + bx + c = 0$ = 根ガニツアルト、一般ニ函数 $ax^2 + bx + c$ の値ハ、變數ノ値ニヨツテ正ニナツタリ負ニナツタリスル。

(一) $a > 0$ デアルト

$$x > \frac{-b + \sqrt{b^2 - 4ac}}{2a} \quad \text{或ハ} \quad x < \frac{-b - \sqrt{b^2 - 4ac}}{2a}$$

= 適スル x の値ニ對シテ $ax^2 + bx + c > 0$ デアル。

$$\text{又 } \frac{-b + \sqrt{b^2 - 4ac}}{2a} > x > \frac{-b - \sqrt{b^2 - 4ac}}{2a}$$

= 適スル x の値ニ對シテ $ax^2 + bx + c < 0$ デアル。

(二) $a < 0$ デアルト

$$x > \frac{-b - \sqrt{b^2 - 4ac}}{2a} \quad \text{或ハ} \quad x < \frac{-b + \sqrt{b^2 - 4ac}}{2a}$$

= 適スル x の値ニ對シテ $ax^2 + bx + c < 0$ デアル。

$$\text{又 } \frac{-b - \sqrt{b^2 - 4ac}}{2a} > x > \frac{-b + \sqrt{b^2 - 4ac}}{2a}$$

= 適スル x の値ニ對シテ $ax^2 + bx + c > 0$ デアル。

上ニ述ベタコトニ二次函數ノ圖表ニ就イテ調ベヨ。先づ、 a の符號ニヨル二根ノ大小關係ヲ調ベヨ。

八、次ノ二次函數ノ値ヲ正ニスル變數ノ値ハドノヤウナ範圍

= アルカ。又、負ニスル範圍ハドウカ。

$$(一) \quad x^2 - 4x - 10 \quad (二) \quad 4x^2 - 12x + 7$$

$$(三) \quad -6x^2 + 7x - 1 \quad (四) \quad -9x^2 - 6x - 1$$

$$(五) \quad x^2 - 6x + 9 \quad (六) \quad -4x^2 - 12x - 9$$

二次函數 $ax^2 + bx + c$ の値ヲ正ニハ負ニスル x の値ノ範囲ヲ、七ノキウテ不等式デ書キ表スコトニ二次不等式 $ax^2 + bx + c > 0$ 或ハ $ax^2 + bx + c < 0$ ノ解クトイフ。

三次以上ノ函數ニ就イテ同様デアル。

九、二次方程式 $ax^2 + bx + c = 0$ = 根ガナイ時、函数 $ax^2 + bx + c$ の値ハ、變數ノ値ニ關係ナク正ニハ負ニ數デアル。又、ソノイグレデアルカハ、 a の符號ニヨツテ判定スルコトガデキル。コノ理由ヲ明ラカニセヨ。

(一) 横八間、縦五間ノ敷地ノ周ニ滑ツテ、下ノ圖ニ示シタ
ヤウニ當フ作リ、ソノ面積ヲ十坪ニ
シヨウト思フ。

當ノ幅ハ同ジニ作ルトシテ、ドレ
クラキニスレバヨイカ。

(二) 根ノ公式ヲ用ヒテ、次ノ方
程式ヲ解ケ。

$$(一) x^2 - 12x + 4 = 0$$

$$(二) 2x^2 + 10x - 19 = 0$$

$$(三) 2x^2 - 2x - 13 = 0$$

$$(四) 7x^2 + 6x + 2 = 0$$

$$(五) 0.14x^2 - 0.11x - 0.15 = 0$$

$$(六) 25x^2 - 20\sqrt{2}x - 37 = 0$$

$$(七) x^2 - 30x - 1296 = 0$$

$$(八) x^2 + (x+1)^2 = x(3x-4)$$

$$(九) (4x-15)^2 = 8(15-2x^2)$$

(三) 次ノ不等式ヲ解ケ。

$$(一) x^2 - 12x + 4 > 0$$

$$(二) x^2 - 12x + 4 \leq 0$$

$$(三) -2x^2 - 10x + 19 > 0$$

$$(四) -2x^2 - 10x + 19 \leq 0$$

$$(五) 7x^2 - 6x + 2 \geq 0$$

$$(六) 7x^2 - 6x + 2 \leq 0$$

(四) 特殊ナ二次方程式ニハ、ソレゾレニ應ジタ簡便ナ解法
ガ考ヘラレル。次ノ方程式ヲ簡便ナ方法デ解ケ。

$$(一) (イ) (x-5)(x-7) = 0 \quad (ウ) (2x-1)(x+3) = 0$$

$$(ハ) x(x-4) = 0 \quad (=) \frac{1}{2}x(2x+3) = 0$$

$$(ホ) x^2 - 6x + 8 = 0 \quad (モ) 26x - 5x^2 - 5 = 0$$

$$(二) (イ) (2x-3)^2 = 25$$

$$(ハ) \frac{16}{x^2} = \frac{9}{(15-x)^2} \quad (=) \frac{9}{(x+2)^2} = \frac{5}{(x-3)^2}$$

